

早川平会計事務所通信

11月号 VOL. 048

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 FAX：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



いつもお世話になります。首相交代でにわかには脚光を浴びた「どじょう」。「柳の下にいつも泥鰌（どじょう）はいない」といえば、偶然の好運など何度も起きるものではないという例えです。一度うまくいったからといって、同じやり方でまた成功するとは限りません。「チャレンジ、そしてまたチャレンジ！」の連続ですね。

【決算が近づいてもできる節税対策とは？】

決算が近づいてもできる節税対策のひとつに、「短期前払費用の特例」という制度があります。通常では、費用の支払いをしてもサービスの提供を受けていない来期の「前払費用」については、当期の経費に算入することができません。

しかし、一定の条件を満たせば当期の経費とすることができます。その条件とは、「契約によって継続的にサービス提供を受けるために支出したものであること」「期間が一年以内であること」「支払った金額を継続してその事業年度の経費にしていること」となります。具体的に適用できるものについては、

地代家賃、システム装置などのリース料、保険料、借入利息、会費などが挙げられます。例えば、月額10万円の事務所家賃について短期前払費用の特例を利用する場合には、決算月などに一年間分の事務所家賃を前払いする契約に変更し、一年分の家賃120万円を支払えば経費として算入することができます。なお、借入金を預金や有価証券などに運用する場合のその借入金の「支払利息」のように、収益と対応させる必要があるものについては、たとえ一年以内の短期前払費用であっても支払い時点で経費に算入することは認められません。また、期間限定の雑誌広告代など「継続的なサービス提供を受けるものでない」場合も、特例が適用されないことがありますので注意が必要です。



【新たな需要を呼び起こしたのは「利用者が求めるサービス」】

新幹線や飛行機より格安で、かつてより若者中心に人気のある長距離高速バス。窮屈なイメージが強かった夜行バスが進化を遂げて利用者が急増しています。席数を減らして乗客一人当たりのスペースを広げると、フラットシートやビデオを完備した個室タイプの高級車両が登場し、電源や無線LANに対応した車両はビジネスマンにも大好評です。女性専用車両の運行で女性客の利用も増えています。「安さ」以外の「付加価値」が新たな需要を呼び起こしているようですね。



A型	B型	O型	AB型
先月までの忙しさから今月は少々パワーダウンしそうです。十分な睡眠時間を確保し、無理せず進みましょう！	新しいプランに着手するのに良い月です。また、新規顧客の開拓も吉です。敏速な行動が更に吉運を高めます！	面倒な問題に遭遇しそうですが憂鬱にならず勇気を出して解決を！漢方系のお茶を飲むと元気の源となります。	交際運が活発な今月は人の集まる場所にツキがあります。良い人脈を得るチャンスですから足を運びましょう！

【「美味しい鍋」は社長のさじ加減ひとつ】

鍋の美味しい季節になりました。鍋と聞いて俄然張り切るのが「鍋奉行」です。食材、ダシの取り方、具を入れる順番や味付け、火加減、食べるタイミングまで世話を焼き、すべてにひと言モノ申さないと気がすまない性質（タチ）の人を誰が「鍋奉行」と名付けたのか知りませんが、言い得て妙なネーミングです。

「確かにいるな〜。そういう人！」と笑っているあなた、鍋のない所で鍋奉行になっていませんか。口では「任せたぞ」と言いながら、結局は1から10まで指示してしまう。社員の仕事に口を出しすぎる社長は、潜在的な鍋奉行かもしれません。経験が浅いから心配で任せてはおけない。何かあったら困るからいちいち目を光らせる。それはその通りだとして、考えてみたいのは「口の出し方」です。

人間の脳は不思議なもので、手をかけすぎるとスキルはアップしても意欲は低下するようにできているそうです。社員を事細かくチェックして世話を焼けば「美味しい鍋」になると思いきや、仕事の場合そうはいかないのです。まずは任せてみる。その一方で仕事を進めながらやり方を教えていくというさじ加減。仕切りたがりの鍋奉行にはストレスかもしれませんが、人を育てるとはそういうことでしょう。



この夏、あるお祭りで、みこしの音頭をとる人を見て外国人が「ナベブギョウ！」と叫びました。その外国人は、「先頭に立ってみんなを仕切っている人＝鍋奉行」だと思ったのでしょう。鍋奉行も世界的になったものです。

みこしの音頭をとるのは社長ですが、鍋奉行になってはいけません。フランスの詩人アラゴンはこう言っています。

「教えるとは希望を語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと」。社員の仕事に口を出す回数を減らし、その分、熱く希望を語ってみませんか。社員に明日をイメージさせるのは社長の大事な仕事です。希望のもとに明日をイメージできる社員が増えれば、いずれ「美味しい鍋」ができることでしょう。

痛快! えだまめ君 画：ほりひろみ



顔文字専用スタンプ
顔文字専用の回転スタンプ『kaoiro-カオイロ』は、2000種類以上の顔文字が作れます。ポン！とひと押しすれば、無機質で冷たい社内メモに温かさが生まれます。場合によっては名刺に使っても面白いですね。

カオイロ 検索